

一般社団法人日本神経精神薬理学会 第 80 回拡大理事会（2023 年度）

日時：2022 年 11 月 3 日（木）13：10～15：30

場所：東京都千代田区平河町 2-41 都市センターホテル 6 階 608 および Web

出席者（理事）：大隅典子、池田和隆、糸川昌成、尾崎紀夫、喜田聡、北市清幸、久住一郎、
橋本亮太、服部信孝（13：30～）、宮川剛、山田清文、渡邊衡一郎

Zoom 出席者（理事）：岩田仲生、新田淳美、橋本均、古屋敷智之

現地出席者（監事）：曾良一郎

出席者（委員長）：井上猛、中込和幸、吉尾隆

Zoom 出席者（委員長）：内田裕之、森尾保徳、山末英典

出席者（オブザーバー）：菊地哲朗

欠席者（委員長）：成田年

13：00～13：10 【JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2022 授賞式】

前回（第 79 回）理事会議事録の確認

I. 審議事項

1. 新入会希望者承認の件（北市総務委員長）

2022 年 9 月 30 日～10 月 28 日の間で、2 名からの入会申請があり、全員が承認された。

2. 新評議員希望者承認の件（北市総務委員長）

前理事会にて 3 名、本理事会にて 1 名が承認され、11 月 5 日の評議員会にて 4 名をお諮りする。

3. 遅発性ジスキネジアに関する診療ガイドラインの件（曾良先生）

依頼を受けた曾良先生と PMDA の協議の中で、当初要望された条件はあくまで参考程度であり、本学会と関連学会が「遅発性ジスキネジアに関する診療ガイドライン」を白紙の状態から作成を始めることが PMDA、厚労省の確認が得られた。今後、脳神経内科領域の先生も含め曾良先生を中心に本学会内にタスクフォースを結成して進めることで承認された。

4. 脳科連-「今後の脳科学研究について」のアンケートの件（喜田企画委員長）

脳科連将来構想委員会より「20-30 年先を見据えた脳・神経科学のビジョンと、そのようなビジョンを実現するための今後 10 年間の研究構想に関して」アンケート回答依頼があり、企画委員会から回答が提示され、承認された。

5. 他学会との連携を目指すための連携シンポジウムの推進に向けてのアンケート実施の件（喜田企画委員長）

他学会との連携シンポジウム等のアンケート実施に関して、承認された。

II. 報告事項

1. 年会報告

a.第 52 回年会（井上年会長）

約 2,000 名の事前参加者登録があり、会員間の交流が期待される。

b.第 53 回年会（服部年会長）

精神科の加藤忠史先生、脳神経内科の横田隆徳先生、薬学の成田年先生の 3 名に副大会長に就任いただいた。テーマは「新しいシームレスな神経科学の醸成をめざして～精神医学、神経学、薬学の融合科学の誕生～」とした。

c.第 54 回年会（新田年会長）

2024 年 5 月 23-26 日を期日とし、CINP、JSCNP との合同年会として東京国際フォーラムにて開催する。

2. 各委員会報告

以下、提出資料に基づき、前回理事会以降の活動内容について報告がされた。

a.執行委員会（大隅委員長）

活動内容について報告がされた。

b.総務委員会（北市委員長）

会員数：1,833 名（2022 年 4 月 19 日～10 月 27 日）

内訳：名誉会員 32 名、功労会員 59 名、評議員 310 名、一般会員 1,279 名、学生会員 142 名、
法人会員 11 社

新入会：55 名

退会：本人申出 8 名 1 社、自然 154 名

※多年度(3 年以上)会費未納者 186 名に対し退会意思確認を実施し、以下の対応とした。11 月 5 日の評議員会にて、事情・経過説明報告を行う。

会員継続 32 名（一般 17 名、学生 11 名、評議員 4 名）

自然退会 154 名（一般 89 名、学生 59 名、評議員 6 名）

c.財務委員会（池田委員長）

2022 年度決算報告および 2023 年度予算に関して、報告がされた。

d.倫理委員会（尾崎委員長）

倫理指針統合や個人情報保護法、症例報告等のアップデートを行う予定である。

e.編集委員会（宮川委員長）

NPPR 合同編集委員会（JSNP と JSCNP）を 2 回実施した。

・クラリベート社より ESCI に掲載された全てのジャーナルにインパクトファクターを付与することが発表され、NPPR も来春頃にインパクトファクターの取得見込みである。

・日本アルコール・アディクション医学会との連携で、Virtual Issue の発刊を進めている。

・査読者選定の際、下記の対応を実施する。

- 1) 著者推薦の査読者以外に必ず 1 名は別の査読者を入れる。

2) 適切な査読が為されるよう、査読依頼メールに以下の1文を加える。

“Do not make any direct contacts with the authors, until the final decision is made.”

- ・NPPRの各賞受賞者が決定した（Article Award 15件（臨床7件、基礎8件）、Topic Award 11件（臨床6件、基礎5件）、Review Award 4件（臨床4件、基礎0件）、Reviewer Award 14件）。
- ・NPPRセミナーシリーズとして、総説を投稿いただき海外研究者を招聘し、セミナーを開催予定である。
- ・ワイリー社との契約更新準備を進めている（本契約は本会単独名義とし、他学会とは覚書対応とする）。

f.国際学術委員会（新田委員長）

下記の日程で国際学会の年会が開催予定である。

AsCNP 年会-AsCNP2023 9月22日～24日（中国 西安）

AsCNP2025 オーストラリア予定

CINP 年会-CINP2023 5月7日～10日（カナダ モントリオール）

CINP2024 5月23日～26日（日本 東京）

CINP2025 6月（イスラエル）

g.広報委員会（古屋敷委員長）

メール配信、ホームページ・SNS更新を行った。

h.企画委員会（喜田委員長）

BPCNP/PP4 学会合同年会における教育講座動画のオンデマンド配信を企画し、年会終了後に速やかに配信出来るよう準備を進めている。

i.学術賞選考委員会（糸川委員長）

2022年度学術奨励賞受賞者2名、JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2022 受賞者9名の報告がされた。

j.トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会（森尾委員長）

JUMPs 研究のデータの受入れより開始し、治験や臨床研究のデータを受け入れる研究を立ち上げ、国立精神・神経医療研究センターの倫理委員会に中央一括倫理申請を行う予定である。

k.薬事委員会（渡邊委員長）

報告事項なし。

l. COI 委員会（渡邊委員長）

橋本謙二先生から渡邊衡一郎先生へ委員長を交代した。

m.EGUIDE 委員会（橋本亮太委員長）

統合失調症のガイドライン講習及びうつ病のガイドライン講習を計14回実施予定である（6回終了、内2回は現

地開催)。来年度からは、全て対面実施を検討している。

n. 専門医制度委員会（橋本亮太委員長）

JSCNPと合同にて2023年度からの開始予定とし、準備を進めている。

o. 中枢薬専門薬剤師あり方検討 Working Group（吉尾委員長）

本ワーキンググループの在り方を再検討していきたい。

p. Nomenclature Working Group（内田委員長）

5月と10月にNbNタスクフォース会議が開催され、NbN-3の改訂を検討した。これまでの成果を日本国内・アジア諸国に還元していきたい。

q. 統合失調症薬物療法ガイドラインタスクフォース（中込委員長、橋本亮太委員）

「統合失調症薬物治療ガイドライン2022」を2022年5月に公表し、Minds掲載に向け、手続きを行っている。

「統合失調症薬物治療ガイド」の作成も進めている。

r. クロザピン対応タスクフォース（橋本亮太委員長）

規制緩和が進み、2022年度の診療報酬改定でクロザピンに関する診療報酬加算が加わり、更なる普及を目指す。

s. 会員交流促進タスクフォース（宮川委員長）

今後は、SNSにNPPRに関する発信を日本語でも投稿する。NPPRセミナーシリーズにて招聘をした海外研究者と会員にて懇親会の実施を検討している。

t. 先端研究推進基盤構築タスクフォース（成田委員長）

成田委員長欠席のため、大隅理事長より報告があった。10月14日「第1回先端研究推薦基盤講演会」を開催し、94名の事前参加登録者があった。

u. 児童思春期神経精神薬理タスクフォース（山末委員長）

報告事項なし。

v. 不安症治療ガイドラインタスクフォース（井上委員長）

年会ワークショップにて社交不安症の啓発普及活動を行っている。社交不安症の診療ガイドラインの英文化を進めている。

w. 臨床神経薬理研究基盤構築タスクフォース（服部委員長）

脳神経内科と精神科の連合を目指し、引き続き、活動を行う。

Ⅲ. その他

1. 日本学術会議、日本脳科学関連学会連合について（尾崎先生、池田先生）

日本学術会議：分科会の活動報告、今後の学術フォーラム開催予定、未来の学術振興構想の在り方に関して報告がされた。

日本脳科学関連学会連合：産学連携の際の組織 COI 提示方法、本会の評議員選出に関して意見交換を行った。

52 回年会最終日にシンポジウム「産学官連携・国際連携で中枢神経作用薬開発危機を克服できるか？」を開催する。

2. 日本薬系学会協議会設立について（北市先生）

2022 年 12 月 12 日（月）10：00～12：00（Web）の説明会へ参加予定である。

以上

令和 4 年 11 月 3 日

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 理事会

議長 代表理事 大隅典子

出席理事 岩田仲生

出席理事 池田和隆

出席理事 糸川昌成

出席理事 尾崎紀夫

出席理事 喜田 聡

出席理事 北市清幸

出席理事 久住一郎

出席理事 新田淳美

出席理事 橋本 均

出席理事 橋本亮太

出席理事 服部信孝

出席理事 古屋敷智之

出席理事 宮川 剛

出席理事 山田清文

出席理事 渡邊衡一郎

出席監事 曾良 一郎